

東方孝義・鷺巣敦哉両氏共編『警察語学試験問題及解答集』（警察試験叢書  
第四編、自己出版、昭和 10 年 11 月 30 日刊）の再発見（八訂稿）

—日本統治下台湾警察語学教養の一齣—

（令和 4（2022）年 7 月 28 日（木）現在）

（補正状況）

平成 16（2004）年 9 月 15 日（水）初稿作成

HP 初出：平成 19（2007）年 11 月 30 日（金）改訂稿作成

平成 23（2011）年 11 月 21 日（月）再訂稿作成

平成 23（2011）年 12 月 18 日（日）三訂稿作成

平成 26（2014）年 11 月 10 日（月）四訂稿作成

平成 26（2014）年 11 月 26 日（水）五訂稿作成

平成 27（2015）年 4 月 25 日（土）六訂稿作成

平成 31（2019）年 4 月 17 日（水）七訂稿作成

令和 4（2022）年 7 月 28 日（木）八訂稿作成

〔改訂経緯〕

・初稿：「再び鷺巣敦哉氏と東方孝義氏について—東方孝義・鷺巣敦哉両氏共編『警察語学試験問題及解答集』（警察試験叢書第四編、自己出版、昭和 10 年 11 月 30 日刊）の再発見—」『台湾協会報』第 600 号（平成 16 年 9 月 15 日刊）

・再録（HP 初出）に当たり、当初の表題「再び鷺巣敦哉氏と東方孝義氏について—東方孝義・鷺巣敦哉両氏共編『警察語学試験問題及解答集』（警察試験叢書第四編、自己出版、昭和 10 年 11 月 30 日刊）の再発見—」を現行表題に変更するとともに、一、二補訂した。

（平成 19（2007）年 11 月 30 日改訂稿作成）

・更に、平成 23 年 9 月の鷺巣敦哉氏著『向上受験の手びき』再発見に基づき、補正した。

（平成 23（2011）年 11 月 21 日再訂稿作成）

・『台湾警察専科学校創校一一三週年紀念特刊 飛躍世紀伝承興隆 日治時期台湾総督府警察官及司獄官練習所』（台湾警察専科学校、2011（民国 100）年 10 月刊）の刊行の件を追加した。

（平成 23（2011）年 12 月 18 日三訂稿作成）

・『鷺巣敦哉著作集 補遺 警察試験叢書（続）・雑誌所収著作補遺（続）・索引』（緑蔭書房、平成 26 年 7 月 31 日刊）刊行の件を冒頭に「追記」として記載した。その他誤植等を補正した。

（（追記 1）参照。平成 26（2014）年 11 月 10 日四訂稿作成）

・台湾・国立公共資訊図書館「数位典藏服務網」（日文舊籍）の件を追加した。

（（追記 2）参照。平成 26（2014）年 11 月 26 日五訂稿作成）

・楊承淑氏「訳者と賛助人：従日治時期通訳題見端倪」の件を追加した。

（（追記 3）参照。平成 27（2015）年 4 月 25 日六訂稿作成）

・東方孝義に関する『天理台湾学報』第 27 号（平成 30 年 6 月）所収論稿を追加した。

（（追記 4）参照。平成 31（2019）年 4 月 17 日七訂稿作成）

・レイアウトを全面変更し、一部補正、追加した。

(令和 4 (2022) 年 7 月 28 日 (木) 七訂稿作成)

\*\*\*\*\*

(追記 1)

平成 26 (2014) 年夏に至り、多くの方々の御助力を得て『鷺巣敦哉著作集 補遺 警察試験叢書 (続) ・雑誌所収著作補遺 (続) ・索引』(緑蔭書房、平成 26 年 7 月 31 日刊) を刊行できた。同書に、本稿で言及した『警察試験叢書第四編・警察語学試験問題及解答集』(法院通訳 元練習所教官東方孝義氏 (1889~1957) との共著、自己出版、昭和 10 年 11 月 30 日刊 (抄録)) の他、『警察試験叢書第一編・向上受験の手引き 附 全警察試験問題』(自己出版、昭和 9 年 7 月 31 日初版刊 (未収録)、昭和 14 年 9 月 6 日改訂版刊 (抄録)、巻頭に当時の督府警務局警務課長森田俊介氏 (1899~1980) の「序文」あり。) 及び台湾総督府警察官及司獄官練習所『練習生必携』(昭和 19 年 1 月刊 (抄録)) 等を収録した。

これについて、本 HP 別稿『鷺巣敦哉著作集 補遺』(緑蔭書房、平成 26 年 7 月 31 日刊) 概要」〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu003.pdf>〉(HP 初出: 平成 26 (2014) 年 11 月 7 日 (金) 初稿作成) 中で一、二紹介したので、併せ御参照いただければ幸甚である。

(平成 26 年 11 月 10 日追加)

\*\*\*\*\*

(追記 2)

その後平成 26 (2014) 年 11 月 21 日に至り、沈佳姍博士より本『警察試験叢書第四編・警察語学試験問題及解答集』(法院通訳 元練習所教官東方孝義氏 (1889~1957) との共著、自己出版、昭和 10 年 11 月 30 日刊) については、現在では台湾・国立公共資訊図書館「数位典藏服務網」(日文舊籍) で閲覧できるとの御示教を頂戴した。厚く御礼申し上げるとともに、無知、不手際を恥じる次第である。(平成 26 年 11 月 26 日追加)

〈[http://das.ntl.gov.tw/sp.asp?xdurl=sp.asp&spurl=xdcm/query\\_for\\_front/search/search\\_ad.jsp?dtd\\_id=000075&ctNode=344](http://das.ntl.gov.tw/sp.asp?xdurl=sp.asp&spurl=xdcm/query_for_front/search/search_ad.jsp?dtd_id=000075&ctNode=344)〉

〈[http://das.ntl.gov.tw/sp.asp?xdurl=BrowseTopic/gipControler.asp&uid=topic\\_result\\_detail&cur\\_do\\_index=1&xml\\_id=0001803062&ctNode=213&dtdname=+%3A+%E6%97%A5%E6%96%87%E8%88%8A%E7%B1%8D](http://das.ntl.gov.tw/sp.asp?xdurl=BrowseTopic/gipControler.asp&uid=topic_result_detail&cur_do_index=1&xml_id=0001803062&ctNode=213&dtdname=+%3A+%E6%97%A5%E6%96%87%E8%88%8A%E7%B1%8D)〉

(平成 26 (2014) 年 11 月 26 日追加)

\*\*\*\*\*

(追記 3)

平成 27 (2015) 年 4 月 25 日識者より楊承淑氏「訳者と賛助人: 従日治時期通訳題見端倪」が上記『警察試験叢書第四編・警察語学試験問題及解答集』に言及している旨の教示を得たので、追記しておく。

・楊承淑氏: 輔仁大学跨文化研究所

〈<http://www.gitis.fju.edu.tw/modules.php?name=Webpage&pa=showpage&pid=1>〉

・「楊承淑近五年著作表 2010/1/-2014/12/31」中に下記あり。

〈 [http://www2.rikkyo.ac.jp/web/tiedu/TI\\_workshop/PDF/YANG\\_Publication.10-14.pdf](http://www2.rikkyo.ac.jp/web/tiedu/TI_workshop/PDF/YANG_Publication.10-14.pdf) 〉

「19 B 研討會 論文 2013/03/08 (已投稿) 台灣日治時期通譯試題研究  
香港亞洲研究學會第八屆研討會、香港：香港教育學院  
台灣日治時期通譯試題、制制度、及譯者言論研究  
NSC 101-2410-H-030-071」

・⇒「訳者と賛助人：従日治時期通訳題見端倪」

〈<http://www.taiwantati.org/wp-content/uploads/2013/09/%E8%AD%AF%E8%80%85%E8%88%87%E8%B4%8A%E5%8A%A9%E4%BA%BA%EF%BC%9A%E5%BE%9E%E9%80%9A%E8%AD%AF%E8%A9%A6%E9%A1%8C%E8%A6%8B%E7%AB%AF%E5%80%AA-%E6%A5%8A%E6%89%BF%E6%B7%91.pdf>〉

(平成 27 (2015) 年 4 月 25 日追加)

\*\*\*\*\*

(追記 4)

東方孝義に関するものとして、中澤信幸・岩城裕之「東方孝義編『台日新辞書』所収語彙の特徴」『天理台湾学報』第 27 号 (平成 30 年 6 月) (天理台湾学会、平成 30 (2018) 年 6 月 30 日刊) 97~117 頁が公表された。

(参考) KAKEN 「多言語併存状況下における台湾語の現状と変容」

〈<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-15K02501/>〉

(平成 31 (2019) 年 4 月 17 日追加)

\*\*\*\*\*

## 〔目 次〕

1 はじめに .....	4
2 本書の概要 .....	5
【附録】本 HP 掲載驚巢敦哉氏関係資料一覧.....	6

## 1 はじめに

先に「鷺巣敦哉氏と東方孝義氏について」『台湾協会報』第 534 号（平成 11（1999）年 3 月 15 日刊）で、「日本統治下台湾警察史を考える場合、官場での職位は別にすると、そのパーソナルヒストリーの検討が興味深いのは、『台湾総督府警察沿革誌』（全五巻、昭和 8～17 年刊、緑蔭書房版 I～V（昭和 61/1986 年 9 月刊））<sup>1</sup>の編者であった鷺巣敦哉氏（1896～1942）と台湾警察、法院における台湾語研究の第一人者であった東方孝義氏（1889～1957）のお二方であろう。」と書いたが、『鷺巣敦哉著作集』（中島利郎教授他編、全 6 冊（I～V、別巻）、緑蔭書房、平成 12 年 12 月 10 日刊（別巻のみ昭和 14 年 1 月 31 日刊）。以下『著作集』。）刊行後、益々その感を強くしている。ちなみに、東方氏については、中島教授に詳細な「東方孝義著作年譜」『岐阜聖徳学園大学外国語学部中国語学科紀要』第 3 号（平成 12 年 3 月 31 日刊）がある。

その後、鷺巣氏については、更に『著作集』未収録論稿が二、三判明した<sup>2</sup>が、加えて、今般（平成 16（2004）年時点）思いがけず、台湾の中央警察大学教授梁添盛博士より、東方孝義・鷺巣敦哉両氏共編という珍しい標記著作（『警察語学試験問題及解答集』（警察試験叢書第四編、自己出版、昭和 10 年 11 月 30 日刊）、以下「本書」。）について御示教を得た。本書は、多年探し求めていたものであり、梁博士の御厚情に深甚の謝意を表する次第である。

周知のように、本書については、台湾ではさておき、国内でも夙に篠原正巳氏（1917～2004）がその存在を指摘されておられ<sup>3</sup>、その表題からして、おそらく鷺巣氏の一連の「警察試験叢書」の一編ではないかと推測されていた（『著作集』別巻 471 頁）。

本書は、鷺巣、東方両氏研究、更には日本統治下台湾警察史、同台湾語研究史上極めて価値のある貴重な著作であると思われるので、取り急ぎ、以下に判明した諸点を紹介しておくこととしたい<sup>4</sup>。

---

<sup>1</sup> 『台湾総督府警察沿革誌』については、本 HP 別稿「鷺巣敦哉と『台湾総督府警察沿革誌』の編纂について—日本統治下台湾警察史の一齣—」参照。

（<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu001.pdf>）

<sup>2</sup> 鷺巣氏の著作の全容については、本 HP 別稿「鷺巣敦哉氏著作目録抄」参照。

（<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu002.pdf>）

<sup>3</sup> 篠原正巳氏『日本人と台湾語—統台湾語雑考—』（自己出版、平成 11 年 6 月 1 日刊。『台湾協会報』第 542 号（平成 11 年 11 月 15 日刊）の「新刊紹介」参照。）62 頁以下は、東方孝義氏のことに触れており、同氏の著書として、『台湾語の学び方』（自己出版、大正 15 年刊）及び『語学試験問題並解答集』（自己出版、鷺巣敦哉氏と共著、昭和 10 年刊）をあげておられた。当時頂戴した篠原氏の御教示によると、その出処は、1993（平成 5）年 2 月台北・武陵出版有限公司が復刻した『日台大辞典』（台湾総督府総務局学務課、明治 40 年 3 月 30 日刊）の解説中の「日治時代台語著作目録」（1990 年陳恒嘉氏初稿、1991 年洪惟仁氏補正）とのことであった。これらは、いずれも、ネット検索対応が未だ不十分であった当時ではなかなか知り得ぬことであって、特に、後者は、鷺巣敦哉氏検討を続けていた編者にも多大の関心があり、原本を見る機会のあることを願っていたところであった。

<sup>4</sup> 平成 23（2011）年 10 月に至り、台湾で『台湾警察専科學校創校一一三週年紀念特刊 飛躍世紀傳承

## 2 本書の概要

① 本書は、やはり鷺巣敦哉氏編の「警察試験叢書」の一編で、その第四編に当たり、鷺巣氏による自己出版、昭和 10 (1935) 年 11 月 30 日刊、定価 2 円 30 銭である。東方氏の肩書きは「法院通訳元練習所教官」、鷺巣氏のそれは「総督府囑託」とある。

② 「警察試験叢書」第一、二編と同じく、当時の督府警務局警務課長森田俊介氏 (1899～1980、霧社事件時の督府警務局理蕃課長、終戦時は督府鉱工局長) が序文を寄せている。なお、鷺巣氏は、森田氏とは職務を越えて親しい間柄でもあったと思われる (『著作集』別巻 273 頁)。

③ 鷺巣氏は、「はしがき」で、「苟も、台湾の警察に職を奉ずる者が、その職務を完全に遂行せんが為めには、本島用語に熟達してみなければならぬことは、今更吾々が喋喋を要しない処である。」として、以下台湾語学習の重要性、必要性を説き、「本書の問題解答には、曾て練習所語学教官として好評噴々、今は法院通訳として、その実力と熱心に定評のある畏友東方氏を煩はしたものである (以下省略)」と、東方氏と本書との関係に言及している。

④ 本文冒頭には、28 頁に及ぶ「東方生」による「台湾語上達法」があり、その後、535 頁にわたって「一、巡查部長試験の語学、二、甲特科予備試験の語学、三、語学特科採用試験の語学、四、甲科生採用試験の語学、五、警部警部補考試々験の語学、六、普通試験の語学、七、乙種語学試験、八、甲種語学試験」の各種語学試験問題と解答が掲載されている。

⑤ 奥付けの後に、広告がある。まず「警察試験叢書の発売先」紹介の後、「警察試験叢書刊行の趣旨」では同叢書刊行の意味が書かれている。次いで、同叢書各編の紹介があるが、第二、三編については主要部分を『著作集』別巻に収録してあるので、ここでは未発見の第一編『向上受験の手びき』 (『著作集』別巻 323 頁参照) の内容紹介をみておきたい。これによると、同書は、三編に分か

れ、「第一編警察受験の手びき」は「一章警察で出世せんには、二章勉強の秘訣、三章各種試験の本体吟味と注意事項、四章各科の準備と最良参考書、五章試験にあたって」、「第二編年次別各種問題」は「第一、巡查部長、第二、語学特科生採用、第三、甲科生採用、第四、警部警部補考試、第五、警察講習生選抜、第六、普通」各試験問題、「第三編各科分類試験問題」は「憲法、行政法、警察法、刑法、刑事訴訟法、法院条例、民法大意、経済大意、作文及警察常識、地理、歴史」となっており、総クロス、四六版、550 頁、定価 2 円 50 銭とのことである。同広告によると「警察界の絶讃」を浴びたというが、本第一編『向上受験の手びき』は、残念なことに、今なお再発見に至っていない。是非とも御教示をお願いできれば幸いである<sup>5</sup>。

---

興隆 日治時期台湾総督府警察官及司獄官練習所』(台湾警察専科学校、2011 (民国 100) 年 10 月刊) なる書が刊行された。同校劉惠璇副教授の編纂によるものであり、寔に貴重な御著作である。他日紹介の機会を得たいと念ずる。(http://www.tpa.edu.tw/) (平成 23 年 12 月 18 日追加。)

<sup>5</sup> 『向上受験の手びき』は、その後、平成 23 (2011) 年 9 月に至り、台湾の中央警察大学教授梁添盛博士及び台湾警察専科学校副教授劉惠璇博士により再発見された。これにつき、本 HP 別稿「鷺巣敦哉氏『警察試験叢書第一編・向上受験の手びき 附 全警察試験問題』及び台湾総督府警察官及司獄官練習所

⑥ 更に、「続刊近刊予告」として、『警察試験叢書第五編問題を基本とした法制及び経済教科書』（菊版千五百〈頁〉位の予定）のことが掲載されているが、これは初めて知るものである。実際刊行されたかどうか不明であるが、鷺巣氏の遺著『台湾統治回顧談』（『著作集』Ⅳ）巻末広告に記載されている『台湾行政法講話試験問題と其解答』（未見）と何か関係があるのではないかとも思う。これも、今後の課題である<sup>6</sup>。

⑦ 最後に、『警察生活の打明け物語』（『著作集』Ⅰ）<sup>7</sup>の紹介がある。同書には、第一版、第二版があるが、本記事により、第二版は「練習所に於ける、甲、特、乙科生の卒業試験問題約二百頁を附録としてある。」（附録共で六百余頁との由）とのことで、両版本の差異が判明した。

⑧ 本書刊行後の昭和 11（1936）年 3 月には鷺巣氏御令室が病床に就いて、以後一年有余の闘病生活を送っておられ、その中で次の著作の『台湾警察四十年史話』（『著作集』Ⅱ）を執筆されている（『著作集』Ⅴ378 頁）ので、おそらくや「警察試験叢書」は以上でもって終結したものかと思われる<sup>8</sup>。

【附録】本 HP 掲載鷺巣敦哉氏関係資料一覧（令和 4（2022）年 7 月 28 日追加）

・「鷺巣敦哉氏と『台湾総督府警察沿革誌』の編纂について—日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu001.pdf>〉

・「鷺巣敦哉氏著作目録抄—日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu002.pdf>〉

・『鷺巣敦哉著作集 補遺』（緑蔭書房、平成 26 年 7 月 31 日刊）概要—日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu003.pdf>〉

・『鷺巣敦哉著作集』Ⅴ（「雑誌所収著作」：緑蔭書房、平成 12 年 12 月 10 日刊）、同別巻（「警察試験叢書・雑誌所収著作補遺・索引」：同、平成 14 年 1 月 31 日刊）及び『鷺巣敦哉著作集 補遺 警察試験叢書（続）・雑誌所収著作補遺（続）・索引』（同、平成 26 年

---

『練習生必携』（昭和 19 年 1 月刊）—警—最近台湾再発見の日本統治下台湾警察史関係希観書二題— —日本統治下台湾警察史の一齣—」参照。

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisutebiki.pdf>〉（平成 23 年 11 月 21 日追加）

<sup>6</sup> この記述についても、上記 HP 別稿「鷺巣敦哉氏『警察試験叢書第一編・向上受験の手びき 附 全警察試験問題』及び台湾総督府警察官及司獄官練習所『練習生必携』（昭和 19 年 1 月刊）—警—最近台湾再発見の日本統治下台湾警察史関係希観書二題— —日本統治下台湾警察史の一齣—」参照。

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisutebiki.pdf>〉（平成 23 年 11 月 21 日追加）

<sup>7</sup> 同書についても、現在では台湾・国立公共資訊図書館「数位典藏服務網」（日文舊籍）で閲覧できる（平成 26 年 11 月 26 日追加）

〈[http://das.ntl.gov.tw/sp.asp?xdurl=sp.asp&spurl=xdcn/query\\_for\\_front/search/search\\_ad.jsp?dtd\\_id=000075&ctNode=344](http://das.ntl.gov.tw/sp.asp?xdurl=sp.asp&spurl=xdcn/query_for_front/search/search_ad.jsp?dtd_id=000075&ctNode=344)〉

〈[http://das.ntl.gov.tw/sp.asp?xdurl=BrowseTopic/gipControler.asp&uid=topic\\_result\\_detail&cur\\_do\\_index=1&xml\\_id=0001803062&ctNode=213&dtdname=+%3A+%E6%97%A5%E6%96%87%E8%88%8A%E7%B1%8D](http://das.ntl.gov.tw/sp.asp?xdurl=BrowseTopic/gipControler.asp&uid=topic_result_detail&cur_do_index=1&xml_id=0001803062&ctNode=213&dtdname=+%3A+%E6%97%A5%E6%96%87%E8%88%8A%E7%B1%8D)〉

<sup>8</sup> この記述についても、上記 HP 別稿「鷺巣敦哉氏『警察試験叢書第一編・向上受験の手びき 附 全警察試験問題』及び台湾総督府警察官及司獄官練習所『練習生必携』（昭和 19 年 1 月刊）—警—最近台湾再発見の日本統治下台湾警察史関係希観書二題— —日本統治下台湾警察史の一齣—」参照。

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisutebiki.pdf>〉（平成 23 年 11 月 21 日追加）

7月31日刊) 所収論稿一覧—日本統治下台湾警察史の一齣—」(本稿)

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisukiko.pdf>〉

・「鷺巣敦哉氏著『台湾統治回顧談(台湾の領有と民心の変化)』(台湾警察協会、昭和18年9月20日刊)・雑誌『台湾地方行政』比較対照表(三訂稿)—『鷺巣敦哉著作集』IV(『台湾統治回顧談(台湾の領有と民心の変化)』:緑蔭書房、平成12年12月10日刊)参考資料—日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisukaiko.pdf>〉

・「東方孝義・鷺巣敦哉両氏共編『警察語学試験問題及解答集』(警察試験叢書第四編、自己出版、昭和10年11月30日刊)の再発見—日本統治下台湾警察語学教養の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/higashikata001.pdf>〉

・「鷺巣敦哉氏『警察試験叢書第一編・向上受験の手びき 附 全警察試験問題』及び台湾総督府警察官及司獄官練習所『練習生必携』(昭和19年1月刊)一瞥—最近台湾再発見の日本統治下台湾警察史関係希観書二題—日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisutebiki.pdf>〉

・「村上収氏の御逝去を悼みて—『台湾総督府警察沿革誌 第二編 領台以後の治安状況 中巻—台湾社会運動史—』編纂過程の究明によせて—日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/murakami001.pdf>〉

・「木村貞次郎氏台湾語関係著作目録抄—日本統治下台湾警察語学教養の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kimura001.pdf>〉

(了)